

甲斐市立双葉西小学校運営協議会 ともに学び ともに育つ



児童数
331

職員数
27

甲斐市塩
崎駅徒歩
10分

学校への
眼差しは
温かい。
協力的な
地域

新興住宅
地と古い
町組織



開校時から校庭にある桜の老木（桜先輩）
樹齢およそ百四十年

コミュニティ・スクール導入までの歩み きっかけ

平成22年4月 文部科学省研究指定校(2年間)となる

平成22年6月 運営協議会推進委員会を設置
基礎研究・先進校視察・教材開発

平成23年4月 学校応援団を募集 応援団組織
7月 学校支援地域会議設立
6月 学校運営協議会規則・要綱案作成
12月 パパの会・ママの会活動開始

平成24年4月 甲斐市教育委員会指定
コミュニティ・スクールとなる
6月 第1回学校運営協議会設立

文部科学省・山梨県・甲斐市それぞれのスタンス

文部科学省

全国にコミュニティ・スクールをふやしたい
全国にCS推進のための調査研究校を指定

山梨県

地域との関係が出来ている山梨で必要かどうか検討必要
学校評価制度で実績のある甲斐市を選ぶ

甲斐市

日頃から地域が協力的な風土のある双葉西小を選ぶ

双葉西小

学校や児童や地域の必要があって始めたのではない
研究指定がきっかけでCSについて研究を行うことになった

◆学校運営協議会制度に関する調査研究

1 学校運営協議会制度の特色やその活用について 先行事例に 学び・調査研究を行う

- 先進校の視察 足立区立五反野小学校, 静岡市立修繕寺南小学校
- 全国コミュニティ・スクール推進協議会東京大会

2 甲斐市コミュニティ・スクール推進委員会を立ち上げ、望ましい コミュニティ・スクールの在り方や活用の仕方について協議し検討 する

○委員構成

研究者2名 地域住民代表2名 保護者代表3名
教育委員会2名 学校職員4名 計13名

○主な研究内容

教育委員会規則・双葉西小要綱の策定
組織編成(学校支援地域会議 学校応援団
本校を避難所とする地域防災会議)

◆学校運営協議会制度に関する調査研究

3 保護者や地域住民の意見やニーズを学校運営にいかす方法の研究

- 学校評価の在り方
- 学校評議員制度と学校運営協議会制度
- 地域アンケート実施・分析
- 学校ボランティア募集編成
- 学校地域支援会議発足

4 学校運営協議会制度に関する調査研究結果の公表と啓発

- 保護者や地域住民への情報の提供
 - ・学校ホームページ
 - ・地域便り(学校便りを地域向けに編集し全戸回覧)
 - ・PTA総会・学年部会・各専門部会活動での説明と協力依頼
 - ・双葉地区民会議での説明と協力依頼

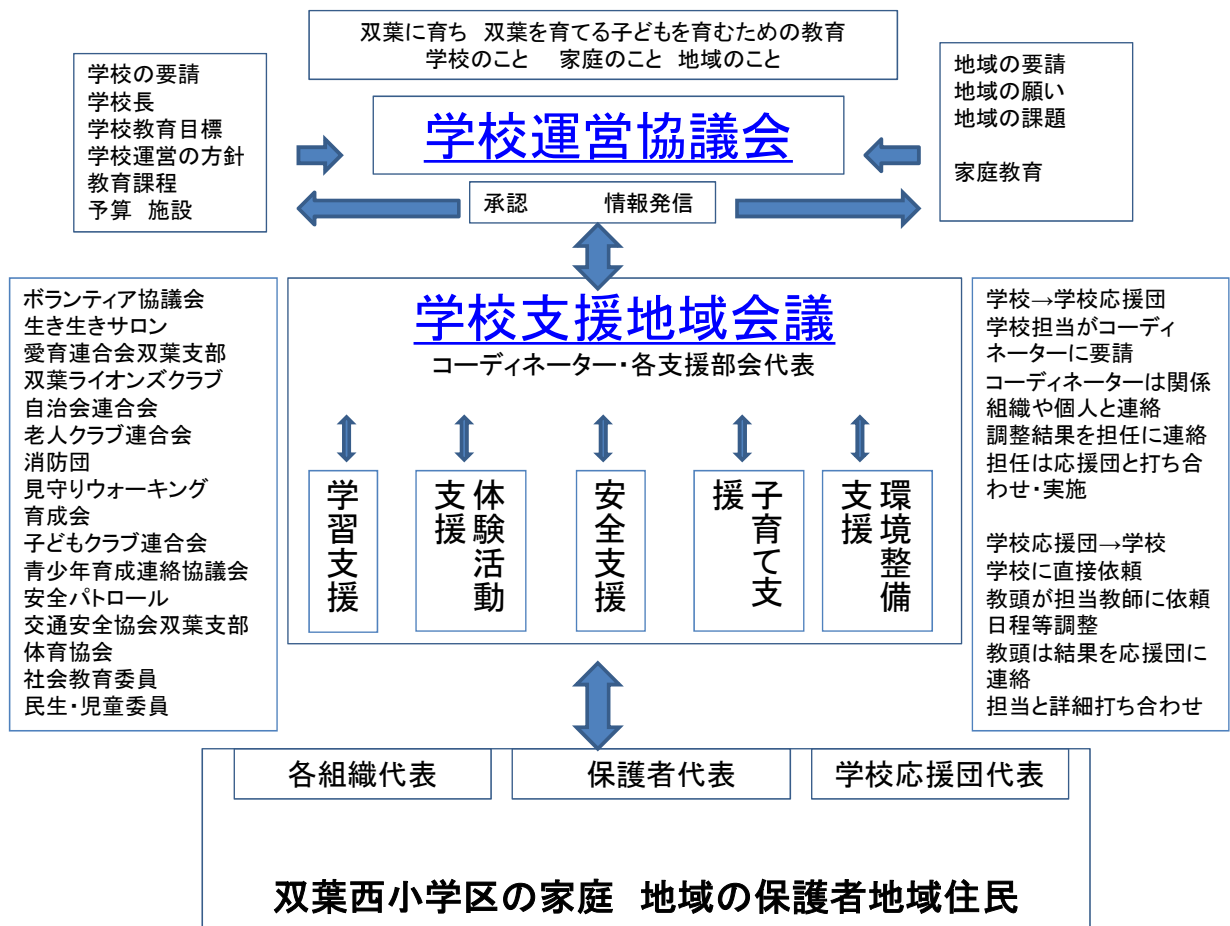
◆地域素材・地域人材をいかした授業の開発

1 地域学習に関する職員の研修

- 地域素材学習会・臨地研修会
- 地域の関係機関との連携
- 地域教材を扱った授業の指導過程の研究と教育課程への反映

2 地域連携授業の実践

- 地域素材から立ち上げた授業の実践
- 学校応援団による授業支援
 - 学習ボランティア 体験学習ボランティア
 - 校外学習ボランティア
- 関係機関との授業連携
 - 公民館 図書館 保育園



学校支援地域会議

学校教育に関係に深いと思われる
組織代表者と学校応援団個人登録
に申込頂いた方がた総勢40名



親父の会とママの会による支援

プール清掃・校庭整備等・・・



読み聞かせ・子育て談義等・・・



活動の中で進む

学校と地域との相互理解

活動の中で果たされる

学校長の学校経営の方針の理解と承認

活動の中の様々な話題の中の一つ

「こんな先生に来て欲しい」

「こういうことが得意な先生がいいなあ」



ボトムアップ型のコミュニティ・スクール

2年間のCS調査研究指定校事業を終えて

成果

- 地域を挙げての学校支援の気運が高まった。
- 学校応援団の組織化に伴い、学校を基地としたシニア世代の交流が始まった。
- シニア世代の学校支援の姿勢に保護者世代がよい刺激を受けPTA活動への参加度が高まった
- 地域教材を扱った授業内容が充実し、児童の地域への関心が高まった
- 地域行事への児童の参加が増えた
- 地域の人々との交流が、あいさつ運動にもよい効果を醸し出した
- 教員と地域住民のふれあいにより、交流が増え、互いに親しみを持つようになった
- 学校運営協議会での話し合いがPTAや地域活動への提言として発信された。
- 親父の会の発足により学校行事への父親の参加が増えた。
- 学校への苦情が減った

課題

- 学校応援団と学校をつなぐ事務局が学校主体であり、校長・教頭の仕事量が増す
- 学校運営協議会での協議を保護者や地域や学校の実践に生かす方策の検討が必要
- 人事に関する事案の扱いをどうするか検討が必要
- 予算の確保が必要

学校評議員制度との対置ではなく 学校支援地域会議との接続として 学校運営協議会制度を考えていくこと

運営協議会委員に学校支援会議代表者(学校応援団代表者)
運営協議会は学校評価委員会としても機能



運営協議会委員に学識経験者(第三者評価を目途)
学校評議員会は設けない



温かく緊張感ある
相互理解と協働の実現



コミュニティ・スクールの指定を行うか・見送るか 双葉西小学校調査研究実践結果の分析と検討 教育委員会・市議会において審議



創甲斐教育推進大綱～甲斐市で育ち甲斐市を育てる人づくり～

重点施策 **学校教育の充実**

家庭・地域・学校の連携強化

みんなで取り組む「地域で取り組む教育活動の推進」

思いやりと規範意識をはぐくむ「豊かな心の育成」



双葉西小学校2年間の調査研究・実践分析と検討の結果
地域の教育力が学校教育に生かされ、地域も活性化し
山梨県の風土に沿いながら、無理なく推進できると判断



平成24年4月 山梨県初 唯一のC・Sとして指定

調査研究指定校として スタート時の学校の戸惑い

コミュニティ・スクールってなに？

地域教材を扱った授業をすればいいの？

地域の人がゲストティーチャーの授業をすれば
事足りる？

私たち教諭は何から手を付ける？？？？



要するに

学校長の明確なビジョンなくして事は進まない

地域の理解と協力なくして事は進まない

教育委員会の支援なくして事は進まない

この取り組みは……

一生懸命にやってしまうと
何か
まずいことになるのだろうか

学校と地域とが
良い関係にある
山梨県に、この
制度は馴染まな
いのではない
か！！

委員会で意見が
まとまらず学校
運営が混乱する
心配がある

日程調整等学
校がますます
多忙化する心
配がある

その都度地域
に協力しても
らっている。今
のままでいい
ではないか！

学校長の権限
がなくなる……
やりにくくなる
心配がある！

…背中に感じる教育関係者の微妙な視線…

やるからには やってよかったと思えるものにしよう



双葉西小の子どもたちの教育内容を豊かにすること

双葉西小学校の先生方の教師力を高めるきっかけ
になること

双葉西小学校の保護者や地域の方々と結ぶきっ
かけになること

学校長としてのビジョンと実践を編む場とすること

この双葉の地域の特性にあったコミュニティ・スクールの姿をデザインする



やらされたからやるのでなく 納得を伴って
学校自らの意思を持ってCS推進の道筋を照らす！

保護者・地域住民の本音を引き出す 教職員に今まで見えなかったもの 教職員が見ようとしなかった事への着目

- 1・双葉西小学校の子ども達についてどんなことを望みますか
- 2・双葉西小学校について(教職員について)も含むどんなことを望みますか
- 3・双葉西小学校の住民についてどんなことを望みますか
- 4・学校応援団の活動についてどのように考えていますか

見えてきた地域の人々の願い



学校よ！
毅然とせよ

思いやりのあるところゆたかな子どもに

地域の伝統や文化を学び、地域のよさに気づき、地域を大事にする子どもに

児童の地域行事への積極的な参加を

学校応援団の積極的な授業支援を

双方向の連携による信頼関係の構築を



地域と共にある学校の実現

地域の方々と共に創る授業・・・ゲストとしてだけでなく、学び刺激しあう関係

子どもも教師もこれまで以上に、意識して積極的に地域に出て行こう

保護者や地域の方々にこれまで以上に気軽に学校に来ていただく機会を増やそう

公民館・図書館・市役所双葉支所・駐在所など関係機関とむつまじい関係を作ろう

学校のためなら なんでもやる！

双葉西小学校のために いやな顔をする人はひとりもない
子どものためなら どんなに忙しくても やってやろうという意欲
よりよい学びを求め 追究するシニア世代の学びの姿勢
自分が子どもたちの学びを支えているんだという充実感
子どもと係わることで繋がる挨拶 声かけ 微笑みがえし
現役世代から寄せられる感謝の気持ち・言葉

学校のためになって よかった！

学校支援の可能性

無理なく 出来るときに 出来る人が 出来ることを
細々とでも ながく続けること

教師の負担を軽くする

地域ならではの学びが成立
する

教育内容が充実する

人と人がつながりを結ぶ

学校は人が集う場となり、
防災の拠点としても機能
する

学校を中心とした地域コ
ミュニティの形成

地域そのものが育っていく

山梨県には山梨県にあった(穏やかな)
コミュニティ・スクールの姿を提案

熟議の場としての運営協議会

活動しながら家庭・地域と意見を交わしあう
学校支援地域会議

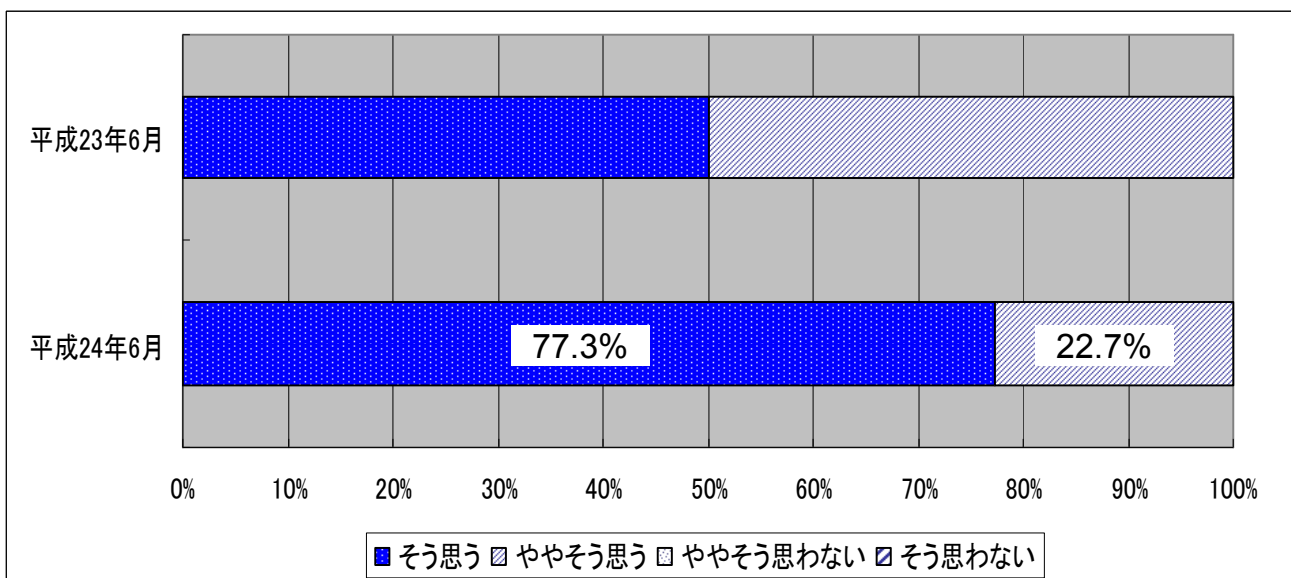
活動しながら 教職員と保護者・地域住民との絆を結んでいく

活動しながら家庭・地域と連携を深めていく

コミュニティ・スクールに
双葉西小らしさがあってもよいのではないか

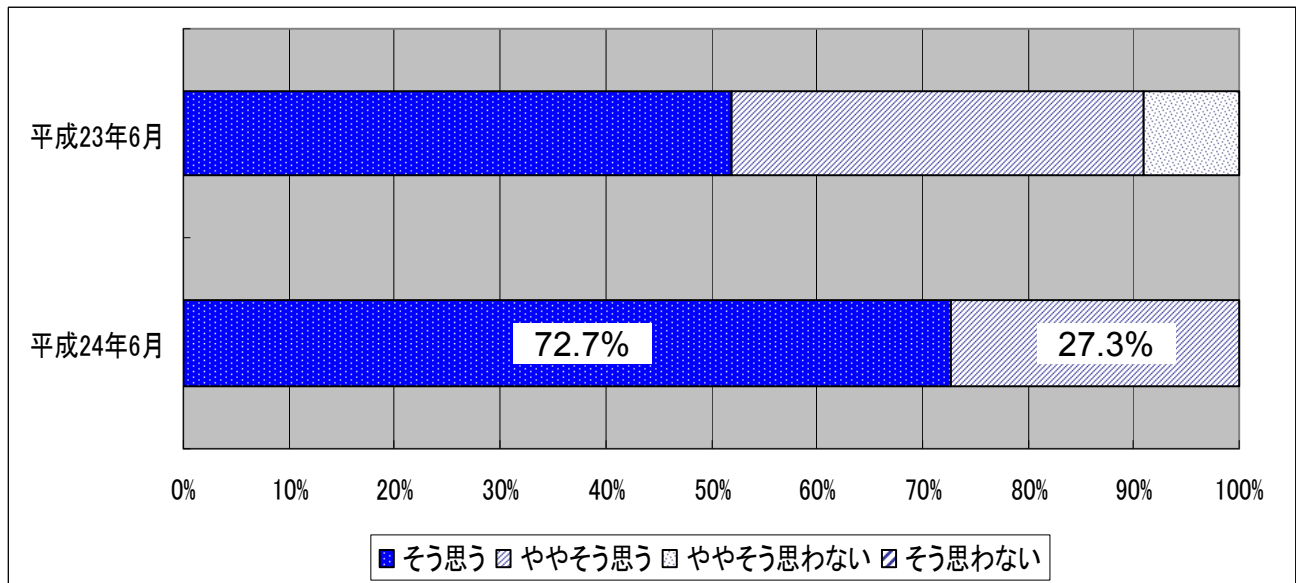
教職員の意識の変化

V-1 あなたは、教育活動の中に地域の人材や施設を活用し、地域の教育力を生かす指導を行っている。



教職員の意識の変化

V-2 あなたは、保護者や地域の願いに応えるため、学校に対する要望等を聞くなどの機会を設け、情報収集を行っている。



地域行事への児童参加数

双葉公民館所属ジュニアリーダー

平成22年度 3名 → 平成24年度 20名

育成会主催球技大会参加者数

平成22年度 9名 → 平成24年度 45名

各地区の春・夏・秋祭り参加者

自分の地区のみ参加 → 他地区の祭りにも参加

